

津山市の米軍機低空飛行調査の追加報告

2011年5月18日

2011年3月2日午後、米軍のF/A-18 ホーネット戦闘攻撃機とみられる機体が津山市上空を飛び、爆音直後に、同市上田邑(かみだのむら)の井口貞信さん宅の土蔵が全壊した事件で、3月16日の測量にもとづき、航空法「最低安全高度」違反だったとする調査報告を3月24日にしたが、2人の新たな目撃証言が得られたため、4月6日に現地で追加測量をした。

3人の目撃者の視線方向から、米軍機の標高は170m±5mと推定される。土蔵からは約30m高く、土蔵からの距離は約200mだったみられる。井口さん宅付近では、地表から30m～40mの高さだったとみられるため、航空法「最低安全高度」に明らかに違反する。

目撃者の一人、森中一成さん(34)は、復旧工事現場(津山市上田邑91)にいて、ほぼ頭上を通過した機体と、少し北側を通過する機体の計2機を目撃した。北側の機体の目撃方向と、井口さん宅近くの2人の目撃方向とを照合した。

もう一人の目撃者、田淵英男さん(66)は、自宅(津山市上田邑8)の玄関前にいて、森中さんの頭上を通過した直後の機体を見たのみられるが、北側の機体は母屋の影で見えなかった。機体の飛行方向は2機ともに西南西だった。

調査は4月6日。末永弘之津山市議、大野智久・岡山民報編集長、秋山欣也・秋山測量設計事務所社長、難波広樹同社社員が、目撃場所の確認、目撃方向の測量、指標物の測量などを行なった。目撃位置と目標の方位角はGPS(全地球測位システム)で測量し、仰角測定はデジタル傾斜計を使い、目撃者の手で測定し、表示の数値を読み取った。

近距離なので、地表を平面として計算し、地図と計算ソフトは国土地理院のものを利用した。

測量は秋山欣也、難波広樹、計算・文責は大野智久。

別紙 調査の記録と米軍機の推定コース

津山市の米軍機低空飛行の調査記録

1. 米軍機(F/A-18)の大きさ 全長 17.07m 幅 11.43m 高さ 4.66m
2. 飛来日時 ----- 2011年3月2日(水) 午後3時すぎ

3. 調査日 ----- 2011年4月6日

4. 井口貞信さん土蔵の位置 ----- 津山市上田邑2678

北緯 35° 05' 17.6616" 東経 133° 57' 35.7418" 標高 137.40m

(石垣の南東頂部で代用。土蔵の南面は北へ約4m、東面は西へ約4.7mと推定)

5. 目撃位置と方向

	方位角	仰角	北緯	東経	目の標高
1-1	320.74°	31.0°	35.08266083°	133.9672806°	124.18m
1-2	255.57°	9.30°	35.08266083°	133.9672806°	124.23m
2-1	261.28°	4.4°	35.08592783°	133.9695833°	125.82m
2-2	275.99°	3.13°	35.08592783°	133.9695833°	125.82m
3	188.15°	17.7°	35.08870556°	133.9637222°	129.04m
4	240.10°	12.0°	35.08767222°	133.9633056°	128.11m

3と4は3月16日測量。1-1と1-2は、別の機体と思われるので、推定図では描いていない。

6. 目撃者と目撃地

	名前	目撃地名		備考
1	田渕 英男	上田邑8	自宅庭先	50cm先で13-14cm
2	森中 一成	上田邑91	工事現場	36cm先で30cm
3	長尾 忠子	上田邑2586	自宅庭先	46cm先で30cm
4	田口 美砂子	上田邑2659-1	自宅庭先	49cm先で5.5cm

ダ

(敬称略)

7. 推定の方法

目撃者の視線をそれぞれ延長し、標高270mに到達する地点を地図に表示した。

(270mは平野部の標高120mに、航空法「最低安全高度」の150mを加えた高さ)

高速の戦闘機などは、直線に近いなめらかな軌跡を描くはずであるが、270m以上で飛んでいたとすると、目撃内容との間に大きな矛盾が生じる。視線が標高170mに到達する3点を結び、ほぼ直線になり、目撃者が見た機体の姿勢や大きさにきわめて近くなる。このとき米軍機と崩壊した土蔵との高度差は30m余、水平距離で約200mにすぎない。

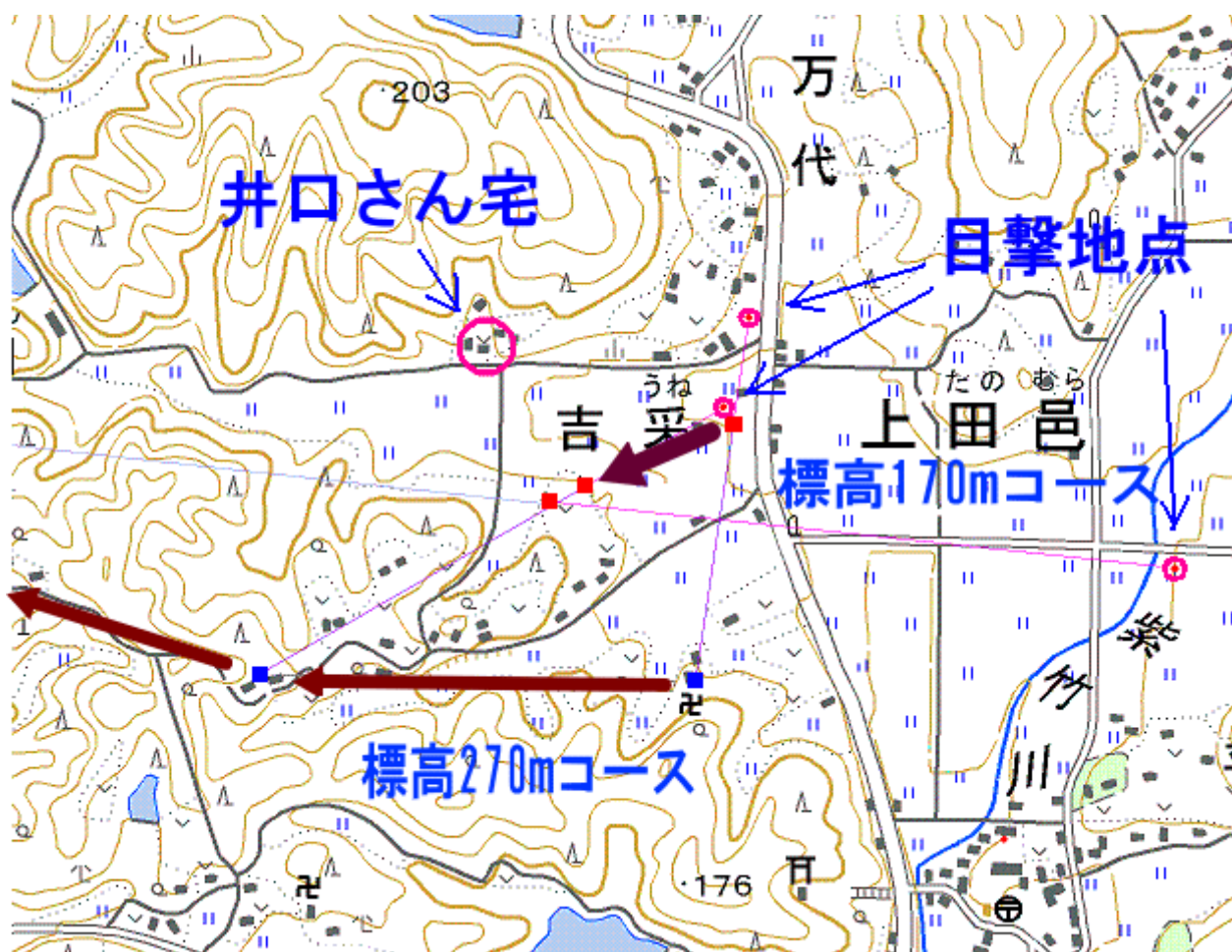
8. ごう音についての証言

井口貞信さんの東隣、数メートル高い敷地(上田邑 2586)に住む、井口周子(かねこ)さんは、「台所にいた。地震かと思った。これが風圧というもの？ すごい音がして飛行機だと思い、墜落したと思って、すぐに外に出たが見えなかった。翌朝、降りたら(井口貞信さん宅の)土蔵が壊れていた。わが家は何の被害もなかった」と話した。

田淵英男さんは「ドンの音がして見上げると米軍機の腹部。二つのタンクがはっきり見えた」と話した。

森中一成さんは「おれんぐらいの音。何事かと地震のような、ゴォーという初めて体験したもののすごい音」と語った。

米軍機の推定コース



以上